

令和8年8月28日

保護者 様

八代市立第五中学校
校長 高森 昭憲

地震発生時の生徒対応

1 登下校中に地震が発生した場合

【生徒の対応】

- ・まず身の安全を確保し、建物、ブロック塀、電柱等から離れる。
- ・揺れが収まった後、周囲の安全を確認する。
- ・通学路に危険がある場合は、無理に移動せず、安全な場所へ避難する。
- ・学校または自宅に到着した場合は、可能な限り学校へ安否を連絡する。

【学校の対応】

- ・生徒の安否確認を行う。
- ・学校及び通学路の安全確認を行う。
- ・必要に応じて、登校見合わせや下校方法等を判断し、保護者へ連絡する。
- ・大規模地震の場合は、余震や通学路の安全を確認するまで、安易に登下校させない。

2 生徒が学校にいるときに地震が発生した場合

【地震発生時】

- ・机の下に入るなど、まず身の安全を確保する。
- ・教職員の指示に従い、揺れが収まるまでその場で待機する。
- ・屋外では、建物や落下物等から離れる。

【揺れが収まった後】

- ・安全な場所へ避難し、点呼・安否確認を行い、負傷者の確認・救護を行う。
- ・校舎、体育館、運動場、通学路等の安全を確認する。
- ・余震による二次災害に十分注意する。

【その後の対応】

- ・地震の規模や学校・通学路の安全状況を踏まえ、校長が下校の可否を判断する。
- ・大規模地震の場合は、原則として学校待機または保護者への引き渡しを基本とする。
- ・保護者へ、安心・安全メールや学校ホームページ等で状況や今後の対応を連絡する。

【対応の基本】

「身の安全確保」→「安否確認」→「安全確認」→「避難・待機」→「保護者への連絡」
→「下校・引き渡しの判断」

※大規模地震では、「揺れが収まった＝安全」ではないことを共通理解し、余震、建物、通学路等の安全を十分確認した上で判断する。